

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスIRISA		
○保護者評価実施期間	2025年2月13日		2025年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	2025年2月13日		2025年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもは安心感をもって通所していますか。 子どもは通所を楽しみにしていますか。	お子さんたちがチャレンジ精神を発揮しながら取り組めるよう、日々の支援プログラムには工夫を凝らしている。職員配置数も充実しているため、一人になって不安になることがなく、安心して過ごせるよう配慮している。	「本人・保護者のニーズ抽出」や「他施設との情報共有」により、更に安心できる環境づくりに取り組んでいく。活動面でも、より楽しく通所しながら成長に繋げていけるよう、支援プログラムの見直しを定期的に行っていく。
2	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	公式LINEを開設したことにより、相互の意思疎通や情報伝達がとてもスムーズになりました。細かなことでも連携が取れている実感がある。 共感的な支援の部分では、職員配置が充足しているため、トラブルなどがあった場合の対応に時間を十分かけることができていることが要因だと推測している。	新しく入職してきた職員やパート・アルバイト職員への情報共有を強化し、更なる意思疎通や共感的な支援に取り組んでいく。
3	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	支援プログラムに関しましては、事前に公表している内容以上の取り組みができるよう日頃から意識している。公表後により良い工夫ができそうな場合、固定概念に囚われず思い切って変更するなど、お子さんの成長に繋がるよう取り組んでいる。	提供した支援内容についてPDCAサイクルに則って、職員間で定期的に検証を実施。理念に合った取り組みや成果になっているか念入りにチェックしながら速やかに改善に繋げていくよう取り組んでいく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2024年12月に運営指導を受け、法定訓練や各マニュアルの保護者への周知・説明について確認することができた。	訓練開催前後の周知や各マニュアルの保護者説明について、必要に応じて行っていくよう取り組んでいく。 利用開始時以後も定期的に安全対策等について説明する機会を設けていくよう取り組んでいく。
2	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	策定した安全計画についての周知が徹底されていなかった。	安全計画について定期的に保護者への説明機会を設ける。具体的には保護者会の開催時、必ず安全計画についての周知を行う。保護者会へ参加していない家庭には、個別で周知するよう面談設定を行うよう取り組んでいく。
3	他施設の児童との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	今年度は「こいこいフェスティバル」「西念寺の行事」「大竹青年会議所主催のプログラミング教室」への参加、「広島市にあるT-DREAM house」との交流を実施。保護者のニーズとして更なる交流や合同活動への取り組みがあることが分かった。	次年度は交流・合同活動を更に増やしていくことで、より開かれた事業所にしていけるよう取り組んでいく。